

事務事業評価シート(平成19年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ【Plan1】

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当者係長名
04111	健康増進事業	保健福祉課	保健係	井口敬子	河手潤子
	一次評価年月日	平成 20 年 7 月 30 日	連絡先(内線)		43-3333
事務事業実施の根拠・位置づけ	会計区分		事業コード	事業名(歳出予算見積書)	
	<input type="checkbox"/> 一般	<input type="checkbox"/> 特別	0430	老人保健事業	
	<input type="checkbox"/> 一般	<input type="checkbox"/> 特別	#N/A		
	章 (コード選択)		2章	安らぎとうるおいのある社会	
	節 (コード選択)		節	#N/A	
	項[基本施策] (コード選択)		221	健康づくりの推進	
第四回総合計画後期基本計画の施策体系における位置づけ		主な取り組み (コード選択)		#N/A	
関連する計画等への位置づけ		<input checked="" type="checkbox"/> 第四次行財政改革大綱	<input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画	<input type="checkbox"/> 主要業務報告	<input type="checkbox"/> その他
事務期間		(開始) s58 年度 ~ (終了予定) 22 年度	L	開始時期不明 J 終期設定なし	

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。【Plan2】

①対象(〜に対して)……この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

住民に対して

健康の増進に向けた自主的な取り組みを、自主的に進められるようになる。

1	健康相談を行う
2	健康教育を行う
3	各種健診を実施する
4	

(3) 活動指標の設定と推移……(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。【Do1】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度			
		18年度	19年度	20年度(見込み)	21年度(見込み)	22年度	年度(見込み)		
①	指標名	健康教室の開催回数		回	180	161	100	100	100
	説明	各地区で開催した健康教室の開催回数		目標値設定の根拠	平成20年度より健康増進法に基づく事業の実施となるため実績を勘案				
②	指標名	大腸がん検診受診率		%	75.7	76.3	76.5	76.5	76.5
	説明	対象年齢人口から他機関受診予定者を除いた数に対する町検診受診者の割合		目標値設定の根拠	近年3年間の平均値を設定				

(4) 成果指標の設定と推移……(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。【Do2】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度			
		18年度	19年度	20年度(見込み)	21年度(見込み)	22年度	年度(見込み)		
①	指標名	健康教室への参加者数		人	3,370	3,271	971	980	980
	説明	各地区で開催した健康教室の参加者数		目標値設定の根拠	実績より設定				
②	指標名	大腸がん検診精密検査受診率		%	75.5	83.7	84.0	84.0	84.0
	説明	要精密検査対象者に対する精密検査実施者の割合		目標値設定の根拠	実績より設定				

(5) 総事業費(コスト)の推移【Do3】

※事業費の算定方法	区	決算書・予算書等に記載の数字				按分計算による算定															
		平成18年度決算	平成19年度決算	平成20年度見込み	平成21年度見込み	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度												
○総事業費(コスト概算)	=①+②	(千円)				76,282	75,041	55,308	55,308												
対前年比		%					98.4	73.7	100												
A) その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)						17,700	17,658	6,240	6,000												
B) 一般財源(税金)						58,582	57,383	49,068	49,308												
①事業費		(千円)				44,118	42,981	23,755	23,755												
対前年比		%					97.4	55.3	100												
②人件費の概算		(千円)				32,164	32,060	31,553	31,553												
対前年比		%					99.7	98.4	100												
		課長		課長補佐		係長		一般職員		延べ人数		年間人件費	年間人件費	年間人件費	年間人件費						
		H19	H20	H21	H19	H20	H21	H19	H20	H21	H18	H19	H20	H21	/	/	/	/			
町職員(正規職員)		0.15	0.14	0.14	0.00	0.00	0.00	0.47	0.48	0.48	4.19	4.16	4.16	4.92	4.81	4.78	4.78	32,164	32,060	31,553	31,553
臨時職員		人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算式)シート										0	0	0	0						

指標化

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	B	A 増加傾向にある B 変化していない C 減少傾向にある D かなり減少している
	2. 町(行政)が関与する必要性がありますか	A	A 町が主体となる必要がある B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる D 町の関与のあり方を再検討する
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である Bの場合その具体的な内容をお書きください B 対象の変更の余地がある
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している Bの場合その具体的な内容をお書きください B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	B	A 期待したとおりの成果があった C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	A	A すでに実施している A・Bの場合その具体的な内容をお書きください B 今後は可能性がある 2種類の健診を同一会場で受診できる C 今後も可能性はない
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	A	A 余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面は余地なし C 一部余地あり D かなり余地あり
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	B	A 検討の余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり D かなり検討の余地あり
その他	9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか	B	A アンケートなど具体的な方法で把握している A・Bの場合その具体的な把握方法を、Cの場合その理由をお書きください B 日常業務の中で把握している 健診受診者より各事業実施時に聞き取る C 把握していない

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみを一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
- b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
- c 効率化を図る(コストを下げる)
- d 縮小する(簡素化する)
- e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業改善の経過

(事業改善をした内容と実施時期を記入します。)

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)

20年度予算見積書への反映 あり なし

[反映内容]

(8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)

上位の施策の推進に貢献していますか。 をチェック

住民の健康維持向上のため必要と考える

- A. 貢献度 大 D. 上位施策なし
 B. 貢献度 中
 C. 貢献度 小

(今後の方向性 を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持 イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止



上記 a~e を選択